昭和26年2月6日（火曜日）　第214號　磐城毎日新聞

種三第　（一）可認物便郵（昭和二十五年十二月六日　第621號　都新聞新承認特別郵便物）

磐城毎日

衛兵與田和大　社長
市平縣島福　發行所
15丁目12番地
社聞新日毎城磐　株式會社
孝倫藤遠　編集兼印刷發行人
（平）一二一〇番　電話
1ヶ月50円　1部2円　定價
【夕刊・月曜休刊】

投稿歡迎

平競輪場

竣工祝賀式盛大に終る

總工費は二千六百萬圓

二千六百萬圓の巨費を投じ幾多の難工事を克服し僅か六ケ月の歳月で文字通りの突貫工事を敢行して見事完成した平競輪場は來る七日の第一回競輪開催迫る三日午後一時より吹き捲くる寒風を突いて四百數十名の來賓が競輪場に詰めかけ福島自轉車振興會の掛り課長から競輪に關する一般的説明があり折り柄練習中の六名の選手によつて模擬競爭を行い來賓をモデルとして從業員の訓練を實施し引續き午後二時三十分より市公會堂に於て横尾通産大臣（代理）高木法務政務次官、大竹縣知事（代理）其他多數名士並に關係有志四百餘名出席のもとに盛大な竣工祝賀式が擧行された

先づ神谷助役（神谷支所長）の開會の辭に次で市長代理阿部助役式辭を述べ大塚市土木課長の工事報告、工事請負者長谷川堀江工業社長に表彰狀並に金一封を授與し通産大臣（代理）縣知事（代理）高木政務次官、自轉車振興會理事長（代理）縣議會議長（馬目縣議代理）金古市議會議長、小川福島自轉車振興會理事長等祝辭を述べ永山助役（飯野支所長）の閉式の辭があり引續き祝宴に移り藝妓の手踊りに興を添へ盛會裡に午後四時閉會したが待望の平競輪も愈々來る七日のフタ開けを待つばかりとなつた許けである

白土方部 選擧對策委を結成

市議戰に備え萬全期す

地方選擧の期日確定と參議院補欠選擧の刺戟によつて平市に於ける各種の選擧對策も表面化されつゝある事は既報の通りであるが市内北白土地區では逸早く松崎秀吉氏を委員長に鹽友好、山野邊正善の兩氏を副委員長に擧げ同方部選擧對策委員會を結成し團体等規正令第六條による届け出での手續きを終り三日午後七時より同區内寶國寺に於て第一回總會を開催し平市議會議員候補として白土方部を基盤とし一致して平市參與前村會議員鹽演瑛氏を推薦する事及理想選擧を標榜して市内一圓に亘り眞の共鳴者を求め主として引揚者をバックとする引揚連盟平支部顧問、本社企畫部長兼編集參與山野邊正善氏の立候補を承認し來るべき市議の改選に際しては平市と合併後最初の選擧でもあり結束を固め萬全を期する事を申し合せた

平競輪場 竣工式祝辭

附記

競輪は一時不祥事件が續發し世の批判の的となつた感があるが平市が計畫した當時は競輪の黄金時代で全國各地方公共團体は財政確立の爲め認可を競うた當時で平市が認可を得た事は全く驚異に價された、これは鉛木市長の政治力による事は論を俟たないが地元選出關内代議士並に高木政務次官の盡力が多大で殊に一般に周知されてないが高木氏の努力が最も功を奏した事は再建の爲には何をさておいても財政的基礎を確立する事が先決問題であると申し言お祝の言葉を申述べる機會を得ました事は私の深く喜びとする所であります、各位も御承知の通り吾國は無謀なる太平洋戰爭の爲言わば破産國とでも申すべき狀態に陷つて仕舞つたので、のみならず地方公共團体についても同樣に言い得ること、殊に地方財政の竣工を見ました事は市財政の將來の爲誠にお目出度き次第でありまして當市と緣故深き私として心からお喜び申上げるものであります

續く

法務政務次官　高木松吉

本日玆に平競輪場の竣工祝賀式を擧行されるに當り一言なければなりません、而してこの事は國家財政の場合ついても亦個人の場合につきましては今日その充實の必要が一段と痛感されます、從いまして國家當市と共に一層の御努力を切望致します

（係）

鈴木市長の經過良好

死亡のデマに側近者呆れる

鈴木平市長は發病以來日を追うて快方に向いつゝあるにも拘らず爲めにせんとする惡質のデマとも見られるものが亂れ飛んでいるが五日には市長が死亡したとのデマが飛び某新聞社から同日午前十時半頃市の助役室に眞疑を確めるべく電話問合せがあり阿部助役を面喰はしたが側近者も餘りのデマに呆れている

公民組の連絡會議

泉公民館にて開く

石城郡及平市の公民館連絡協議會では泉公民館に於て四日午前十時より連絡協議會を開催各町村に對して公民館の費用を十萬圓以下では何事もなし得ないので十萬圓以上に獲得する樣努力する事及公民館專任主事を置く樣努める事など申合せ午後三時散會した

縣漁業協連で役員大會開く

福島縣漁業協同組合連合會では來る十五日正午より市公會堂日本間に於て漁業經營の合理化を計り組合間の連絡を密にするため組合役員大會を開き合せて同席上に於て優秀漁船並びに水産功勞者の表彰を行ふ

米國視察の松本氏

七日平發十一日空路渡米

米國の教育視察團の一員として渡米する事となつた、福島縣連合青年會長、縣社會教育委員松本一夫氏（石城郡上遠野村）は七日午前九時居村上遠野村を出發、同日午前十一時十分平驛發列車で上京、來る十一日羽田より空路渡米の途につく事となつた

平の列車取締り

平鐵道公安室では四日常磐線上り二二八列車を警乘取締り主食其の他無主物二ヶ約四斗二升を押收惡質違反者は大宮市土手町二丁目黒澤幾一（三六）夫婦を市署に身柄を送致した

赤い黨員の檢擧

占領政策違反の阿部

福島地檢では最高檢からの指令にもとづき國警縣本部との連絡の下に占領政策、政令三二五號違反の疑ある十一名に對し四日午前六時を期して一齊檢擧を行つたが内郷町官金坂阿部文平（三二）を内郷署相地次席以下署員十二名は國警縣本部警備課公家警部補、平地區署員、同特別機動班員十五名の應援下に四日午前五時四十五分自宅に於て逮捕し家宅捜索の結果「平和のこえ」「自由」「われらの世界」「アカハタ」など約三百部を押收した、身柄は一時平地區署え連行されたが同日午前八時半の汽車で郡山え移送された

運轉手二名に

四倉町で行政處分

四日午後四ツ倉町では自動車運轉手行政處分諮問委員會を結成、會長に門馬公安委員長が就任、同町仲町運轉手三浦行雄（三六）を四ケ月同町新町諸橋中二（三三）を六ケ月の運轉停止の行政處分に附した、三浦は昨年八月富岡町上郡地内で木橋を渡る折、腐つて居るのを知らずに渡り通行人を怪我させたもの、諸橋は去年十月平市神谷地内で松の大木に打つけて助手を重傷させたもの

小名高校生卽死

就職の喜鐵道で消ゆ

四日午後五時頃江名町折戸字岩浦飲食店業渡川重忠さん次男安正君（一九）＝小名濱高校三年生＝は吳羽化學の就職試驗に合格したため同工場え挨拶に來た歸り道汽車の時間に間に合はないので近道して鐵道線路を通行勿來、錦間の蛭田川鐵橋附近で上り列車二〇六號にはねられて卽死

出売大引福末歳の目丁四三

壹等　五十名樣　成田山初詣御招待　以下6等迄空クジナシ　2月1日～2月8日　蓄12月25日～1月3日　三丁目商店會

絶對德用　文化木炭（厚生大臣推賞）
製造販賣　（卸＝小賣＝配達迅速）
各種燃料取扱　有限會社　共榮燃料工業所
平市正月町66（電話1284）
小名濱出張所（登記所前）

平本局前　電五二八　飲食とお酒の店　柳

本場＝牛豚肉＝自慢
配達迅速　第一線屋　電539
第二線屋　電794

昭和25年7月6日 第三種郵便物認可　昭和26年（1951）　磐城毎日新聞　2月6日（火曜日）第214號

小さなマリーの

思い出　(5)

そこで冒險の旅に出たがつていました、人生こそもつと面白い冒險だ、と名付親は言いました、しかもこの冒險談には自分自身がばいつて居たのです、こうしてこの子供達は部屋の中でわい〳〵騒いで暮していました、さて、この部屋の上にこの一族の分家が住んでいました、ここにも子供がいました、もつともう子供とは言えないかも知れません、それほど大きかつたのです、一人の息子は十七才で、今一人は二十才、三番目はもつと年を取つていると小さいマリーは言いました、この息子は二十五才で婚約しました、三人共幸福でした、よい兩親を持ちよい着物を着て、よい才能に惠まれていました、そして何んでも好きなものにならうと思いました、そこで古い板塀はすべて取り拂い、世の中を廣々と見渡すのだ、世の中はど面白いものはない、名附親の小父さんのおつしやる事は最だ「人生こそ最も美しい物語だ」お父さんとお母さん、二人とも年よりでした、もちろん子供達より年上のはずです、二人は口もとに笑を浮かべ、目と心に微笑をたたいてこう言いました、若い人達の元氣の良いことみんなの思うやうに世の中へ全部行くわけでないけれど、それでもやつぱり出かけて行くのだ、人生とはほんとうに不思議な面白い物語りだ

さて、そのまた上の部屋に名附親が住んでいました、世間では屋根裏部屋に住むと天國に少し近くなつたと言います、そこに名附親は住んで居たのです、名附親は年をとつて居ました

氣は若く、いつも上氣嫌でした、そして長いお話をいろ〳〵知つていました、世界中を廣く旅行して、國々の美しい物が部屋のなかに飾つてありました

天井から床まで繪がかけて有りました、窓には赤と黄の「ガラス」が何枚もはまつて居ました、そこからのぞくと、空が灰色に曇つていても、世の中が太陽に照らされて居るように見えました　續

相馬部會結成さる

松平參院候補に有利

自由黨縣支部では相馬郡下に於ける同志を糾合し自由黨相馬部會を結成し來るべき地方選擧に備え萬全を期する爲結成準備中であつたが四日午前九時より原町に於て別項の如く自由黨本部より大橋法務總裁高木法務政務事官、山本郵政々務次官外一行十八名の大擧臨席を得て自由黨相馬部會結成大會を盛大に擧行し午後一時より中村、原町鹿島、小高町等主要地區に於て大演說會を催し氣勢を擧げた尙双葉郡下に於て來る八日富岡町に於て自由黨双葉部會結成準備委員會を開催し部會結成に乘り出す事となつたが相双地區に於けるこの動きは高木政務次官の地盤を一層强固にすると共に今次の參院補缺選擧に立候補中の自由黨公認松平勇雄氏の選擧戰を有利に展開するものと見られる

自由黨

勞働委員長　倉石忠雄
訴追委員長　三浦寅之助
〃副委員長　金原舜二
前法務政務次官牧野寛索
內閣委員長　木村公平
法制審議會委員長

大物揃い大擧臨席

得意の高木政務次官

事は異數とされて居り高木政務次官の中央政界に於ける勢力のバロメーターとして注目される、一行の顏振れは次の通り

法務總裁　大橋武夫
郵政々務次官　山本猛夫
前考査特別委員長　鍛治良作
文部常任委員長　岡延右エ門
建設〃　內藤隆
水產〃　岡淵光一
〃　川端佳夫
前法務委員長　花村四郎
兩院法規委員長　高橋英吉
法務委員長　角田幸吉
考査特別委員長　安部俊吾
　篠田弘作

五郵便局長

三日湯本町にて會議

三日午後一時より湯本町で中村、原の町、平、湯本、小名濱の五郵便局長及保險係員約五十名が集り簡易保險の早期達成合同打合會を開いた

融資は明るい見透し

町議對策委員の歸町談

小名濱町漁業協同組合と町との共同事業として計畫された製氷、冷凍、冷藏工場建設に要する資金六千五百萬圓の內千八百萬圓を自己資金とし殘額四千七百萬圓を見返り資金の融資を仰ぎ建設を實現せんとする運動の爲め町議會對策委員長立花秀吉、委員小野禮一、比佐政種の諸氏は既報の通り過日上京し各關係方面と折衝し一行は明るい見透しを得てこの程歸町したが次の如く語る

今回は第十國會の開期中を狙つて各代議士や、參議院議員に面會して陳情せんとする目的であつたが先づ關內代議士を訪ねた處不在のため面會出來ず且つ石原參議員も同樣で面會し得なかつたのは殘念であつたが幸い高木松吉代議士（法務政務次官）が居合せたので案內役を買つて出で水產廳に庭坂長官を訪ねると其處に居たのが別府出身の永田代議士で、製氷、冷凍、冷藏にかけての巨頭で見返資金係りの和田事務官とは親密の間柄であり高木代議士とも親しい仲なので

漁業施設

この自由黨相馬部會結成大會に臨席の爲め法務政務次官高木松吉代議士は三日午後一時着急行列車で來平、當日午後二時より開催された公會堂に於ける平競輪場竣工祝賀式に臨み祝辭を述べ午後五時三十七分平驛發で原町に向い、大橋法務總裁一行は既報の通り三日午後十時平驛通過の急行で原町に向つたが大橋總裁一行は大物揃いの十七名で單なる地方部會の結成大會に斯る大物が大擧して列席するのになら子と思いました

平舞台藝術研究會長決る

劇作家　上泉秀信氏就任

平市七軒町八雜貨商市川ヨシノ（三〇）さん方では三日朝午前零時半頃賊が侵入室內を物色中であつたが家人が眼をさましたのを感じて何物も取らず逃走した

七軒町の强盜未遂

平市を中心とする文化人によつて結成されている平舞台藝術研究會企劃部では過日來同會々長を選擇中であつたがこの程劇作家上泉秀信氏に正式決定を見るに至つた、尙同研究會では近く本社編集室に於て總會を開催し今後の活動方針等について協議する豫定である

平文化舊正月豪華ラインナップ!!

6日 ～ 9日

婦人倶樂部中戰連載
川口松太郎原作

醫學者に藤田進　憂愁夫人に月丘夢路　看護婦に寶塚のナンバーワン久慈あさみ　そして其の戀人に池部良と云ふ豪華キヤスト萬人の紅涙をしぼる大メロドラマ……

愛染香

キヤスト　藤田　進　池部　良　月丘　夢路
久慈あさみ　入江たか子　高田　稔

10 ～ 11 ～ 12日

嵐寬十八番の右門捕物帖……片眼狼實は右門の變裝姿で惡人共を一網打盡……

片眼狼

嵐　寬壽郎
花井　蘭子
イノケン

食輕と茶喫
速迅前出
女登茂
平市田町電二〇四

拾い讀み

舊正月が迫つて何となく慌しいこの二、三日美しく飾られたショウウインドーの片隅に「ハツトあります」の貼紙が眼にとまつた「ハツト」？思わず首をかしげて見なおすとピースから光新生と位階勳等もいと鮮かに分列式の樣な煙草屋さんのお店、バツトの點が忘れられてハツトとなつて思はすハツトさせられたもの、點が忘れられたのはまだしも一頃はお店のウインドウからバツトだけ忘れられて三十圓では煙草はなか〳〵手に入らなかつた、バツトの出廻るのも嬉しいがもう少し何とか味が良くならないものでしようかせめて點の分だけでも　柳風子

氣分が良くて安いと定評ある燕樂

女中さん至急入用年齡三五、六歲迄

暖かい明るい御座敷を！

御宴會、御商談、御會合、御利用下さい
御宴會、御會合は御予算でどんな御相談にも應じます、（御酒持込歡迎）

御料理仕出し
燕樂
平文化裏通り
電1,273

大量入荷致しました

秋田杉原木

丸一材木店
工場　禰宜町　電五五六番
自宅　五丁目　電二九〇番

二日市
大塚の吉例引福
舊正月大賣出し
二月一日より八日迄
蘆二日三日…市は福引の外
◎特別二重景品進呈
○定評有る…大塚の靴
紳士靴　婦人靴各種
○月星運動靴（六文より十一半迄）
○各種…運動具　グローブ　ミツト類
○アンダーシヤツ及び服裝
（商品切手御利用下さい）
平市驛前三十米道路
大塚へ
電話七十七番